

第2節 営漁計画と漁家生活の向上

1. 生活設計

漁家生計の特徴として、大漁のときは思い切り贅沢をし、不漁のときは貧しい暮らしに耐えるという風潮がある。このように漁業収入が一定していないことが、予算立てを困難にしている。

1966(昭和41)年、大崎町でバッチ網漁業を営んでいたある漁家は「わが家の生活設計」と題して発表しているが、出納簿の記入からスタートして、次は事業費と家計費の区別の必要性を感じ、さらに予算生活をするには、蓄えがないと計画も立てられないということで、収入増を図る方向へと進んでいる。さらに普及員の助言等により水産加工に力を入れるようになった。

加工製品の品質向上、販路の拡張、共同出荷などに夫妻で努力した。さらに婦人グループの活動のなかで生活改善の勉強会をしたり、先進地の視察もした。とくに食生活の改善には力を注いだ。そのかわり被服費、娯楽費は微々たるものであった。そこで、県の生活改良普及員の指導も受けて、谷山にあった生活近代化センターでの研修を受けて改善に努めている。

1960(昭35)年ごろから十数年間の漁村の婦人活動を「活動実績発表資料」からみると、喜入町、里村、鹿屋市など多くの地域で、わかめ養殖・加工、雑魚加工、ウニ加工等の生産活動のほか、日掛貯金(一日10円竹筒貯金)運動、諸行事簡素化などの新生活運動、家計簿の記帳運動などがある。

「一冊の家計簿からわが家の生活設計」というような標語はこのころ叫ばれた。

昭和50年代(1975～)は生活改善グループによる運動として1日8時間の睡眠をとり、8種類の野菜と1本の牛乳を摂取しようという「8・8・1運動」、自給野菜の栽培運動、年間食費平均90万円の3分の1相当の食材を自給しようという「30万円自給運動」等が始まった。

1) 漁村生活改善推進事業

県農政部は、「沿岸漁村の振興は、生活改善をあわせ行う必要がある」との考えから、1979(昭54)年から3年間、漁村生活改善調査、漁村生活改善現地検討会を行った。これには水産業改良普及員、市町村、漁業協同組合等も協力した。

1979(昭54)年度実施地区及び担当農業改良普及所

笠沙町(片浦、小浦)	加世田農業改良普及所
串木野市(羽島)	伊集院 "
垂水市(海潟)	鹿屋 "

1980(昭55)年度

阿久根市(倉津)	阿久根 "
志布志町	大崎 "

1981(昭56)年度

開聞町(川尻)	穎娃 "
佐多町(大泊、外之浦)	根占 "

その結果、生活改善課題として掲げられたのは次の事項であった。

- ・ 漁作業に適した作業衣の工夫
- ・ 健康維持増進に対する知識の向上、栄養バランスのとれた食生活の推進、船上食の改善工夫
- ・ 自給野菜の栽培技術の習得、計画的な家庭菜園
- ・ 手作り加工技術の習得
- ・ 住みよい住生活環境の改善(衛生施設の改善、収納施設の改善)

- ・住みよい地域生活環境の改善(道路，公園等の整備，診療施設の充実)
- ・家計簿記帳と，家計費の無駄を省くための冠婚葬祭の簡素化
- ・漁業経営改善による収入増と計画生活の推進・漁業経営改善による収入増と計画生活の推進
- ・経営改善グループと生活改善グループの育成。明るいコミュニティー作り
- ・生きがいづくりの推進，趣味のある人生
- ・労働の適正配分(家事作業，漁作業の計画化)，休息のとり方の工夫

2. 営漁計画

1973(昭48)年，1977(昭52)年の二度にわたるオイルショック，燃油価格の高騰，漁業用資材価格の上昇，200海里体制の定着，生産性の低迷...など厳しい漁業環境下にあつて，漁業者の計画的な漁業経営，即ち営漁指導が求められるようになった。

このため国は，1985(昭60)年から沿岸域計画営漁推進事業を実施することにした。この事業は，複雑な利害がからむ沿岸漁業を，地域漁業者間の話し合いによって，漁業資源に見合った適正な操業と調整を行い，計画的な漁業活動による活力ある漁村を作り出すことを目標としている。

鹿児島県でも，1985(昭60)年度から別表「地域営漁計画書策定実績」に掲げる地域で計画書を策定，目標実現に向けて努力を行った。

地域営漁計画の骨子

地域漁業の振興を図るため，漁業者自らが資源・漁場の自主管理を基本とし，水産資源の維持増大，適正な操業，水産物流通・加工の合理化，漁業経営の安定，就業機会の拡大，生活環境条件の整備等を総合的に推進する。

地域営漁計画書策定実績

市町村名	団体名	指定地区種類	計画期間	計画策定年月日
吹上町	吹上町漁業協同組合	一般地域	昭和60年度～昭和64年度	昭和60年度
出水市 高尾野町	出水市 "	濃密地域	昭和60年度～平成2年度	昭和62年3月24日
瀬戸内町	瀬戸内 "	一般地域	昭和60年度～昭和64年度	昭和61年3月25日
開聞町	かいゑい "	"	昭和60年度～昭和64年度	昭和60年度
中種子町	中種子町 "	"	昭和62年度～平成3年度	昭和63年3月
笠利町	笠利町 "	"	昭和62年度～平成3年度	昭和63年2月29日
笠沙町	野間池 "	濃密地域	昭和62年度～平成4年度	平成元年3月25日
佐多町	佐多岬 "	一般地域	昭和63年度～平成4年度	平成元年2月23日
阿久根市	黒之浜 "	"	昭和63年度～平成4年度	平成元年3月14日
大和村	大和村 "	"	昭和63年度～平成4年度	平成元年2月17日

3. 参考文献

- 1) 鹿児島県林務水産部(1956～)：漁村青壮年婦人活動実績発表資料。
- 2) 鹿児島県農政部(1979～1981)：漁村生活改善推進事業調査結果 昭和54，55，56年度。
- 3) 全国漁業協同組合連合会(1988)：地域営漁計画策定の手引き - 改訂版 - 昭和63年3月。

(田中 正男)